



新型コロナ、県内の市民活動にも重大な影響 高知県内 NPO、約 8 割が事業実施に「影響ある」

本会ボランティア・NPOセンターを含む県内中間支援組織で構成するNPOサポートチームでは、県内のNPO(非営利組織)を対象に「新型コロナウイルスの感染拡大における非営利組織への影響に関するアンケート」調査を実施しました。その結果、県内NPOの約8割に新型コロナウイルス感染拡大の影響が出ていることが判明しました。

1. 背景

新型コロナウイルスの感染拡大が全国各地で広がるなか、医療・経済をはじめ、市民の生活にも様々な影響が出ています。そんな中、地域での困りごとや社会課題の解決を図る市民活動を行う非営利組織の活動にも大きな影響が出ています。

その影響を明らかにし可視化することで、現状を社会に伝えるとともに必要な支援策の検討を行うことを目的に、上記のアンケート調査を実施しました。アンケートは6月10日から7月10日の期間に行い、110団体から回答を得られました。

2. 内容

調査内容は、事業実施への影響・スタッフの生活への影響・必要とする支援など全11項目。約8割の団体が事業の実施への影響があるとし、自主事業の収入減、活動場所の確保が困難、組織内でのコミュニケーションがとれないなどといった回答が多くみられました。

また、会費の減少、助成金や補助金等の減額、利用者の減少やモチベーションの低下などから、活動そのものの継続への不安の声が多く、利用できる制度や支援の情報を求める声が多く上がりました。

そうした状況でも、手指消毒の徹底やWeb会議システムの利用などの感染症予防を講じながら長期化するコロナ禍のなかでNPOだからこその活動をつなぐや支え合いを保ちながら努力する団体が少なくないことがわかりました。

3. 今後の展開

今後は、調査結果をもとに、NPOサポートチームをはじめとする関係機関と支援策の検討を行っていきます。

また、調査結果については、こうちボランティア・NPO情報システム:通称ピッピネット (<https://www.pippikochi.or.jp>)にて公開しています。

【お問い合わせ先】

社会福祉法人高知県社会福祉協議会
部署名:ボランティア・NPOセンター
担当者:鳴川 真央
TEL:088-850-9100
E-mail:kvnc@pippikochi.or.jp
URL:<https://www.pippikochi.or.jp/>

